令和8年
第3回
定例会

ひらない 議会だより

第229号
令和8年11月11日発行
青森県平内町議会

いざ出発!!
身も心もウキウキ
僕らの旅が始まる



ココミテ！

議会フォーラム2026を開催！… 2~4
1年間 町のお金をどう使った？ 6~9
4人の議員が一般質問 …… 10~14
おいしいお弁当屋さんを紹介…… 17
がんばれ！平内アスリートクラブ… 18

【 今回の表紙 】
平内中学校3年生の生徒が2泊3日の修学旅行に出発する場面です。出発式で荷物や注意事項の確認を行った後、スクールバスで七戸十和田駅に移動し、新幹線で東京方面に向かいました。

「平内町議会フォーラム2026」開催！



船橋　健人 議長

7月22日、平内町勤労青少年ホームにて、農業関係者の皆さまと意見交換会を開催しました。

活発な意見交換を通じて、多くの貴重なご意見・ご要望を伺うことができました。

いただいた声を今後の議会・議員活動に活かし、より良い町づくりに取り組んでまいります。



田中　光弘 委員長　　荒内　護 副委員長

参加してくださった皆さま ご協力ありがとうございました

グループ1



＜参加者＞
左から
田中大議員
蝦名康一さん
倉本義憲さん
千代谷仁司さん
山谷金逸さん
伊瀬谷俊吾さん
倉内清一議員
船橋健人議員

グループ2

＜参加者＞
左から
佐々木悟さん
小形輝生さん
内海伸議員
木村良一議員
木立純一さん
田邊真太郎さん
伊瀬谷順一さん
太田満則議員



グループ3

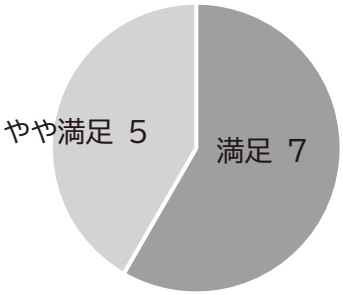


＜参加者＞
左から
太田康彦さん
畑井勝廣議員
木村章さん
前田友絵さん
田中茂勝議員

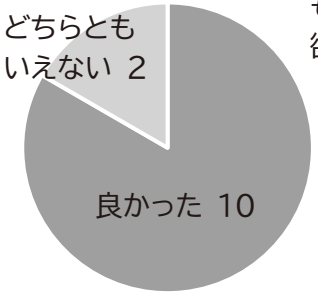


参加者アンケート集計（回答者12人）

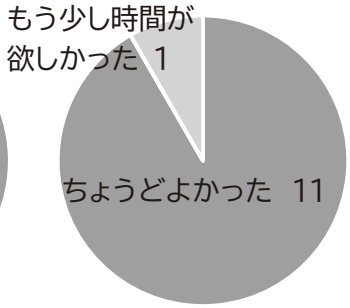
議会フォーラム2026の満足度



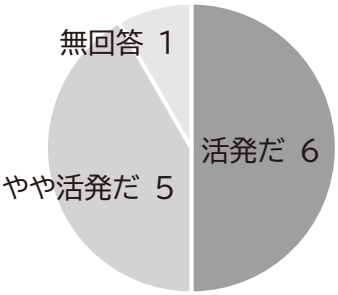
テーマはいかがでしたか



時間はどうでしたか



議会・議員の活動印象



いただいた意見・要望を町長に報告しました

9月28日、船橋健人議長、木村良一副議長と平内町議会活性化特別委員会の田中光弘委員長、荒内護副委員長の4人が、船橋茂久町長、山田光昭副町長に議会フォーラム2026の様子と皆さんからいただいた意見・要望を報告しました。



こんな意見がでました！

平内町の農業の良いところ

柔軟な働き方と健康的な環境

・自分で仕事の時間を決められる
・自然とふれあいながら作業できる
・家族で仕事ができる
・体を動かしているので健康的である

恵まれた環境と拡大のチャンス

・農地規模拡大のチャンスがある
・やませが少くなり、農作業がやりやすくなった
・災害が少ない
・田んぼが近くて良い
・町農政課に相談しやすい



良いところを伸ばすには

・週1日程度の定期的な休日を検討する
・耕作放棄地や休耕田の農地情報を町HPに掲載してほしい
・集団検診の日時を農閑期にしてほしい

不安・不満に思うところ





鳥獣被害とインフラ整備への懸念

・クマ、シカ、イノシシ等の被害
・水不足
・1 枚の田が 2 反歩ない。効率が悪い

不安・不満を解消するには

・クマ、シカ、イノシシの速やかな対応を
・用、排水路の整備をしてほしい
・土地改良整備事業を行ってほしい

不安定な米価とコストの高騰

・米の価格が不安定
・農業機械が高額で修理も大変
・奨励品種の種苗の種類、量が少ない

・米価を早期に発表してほしい
・法人化を目指す
・ほしい品種が行き渡るよう確保してほしい

深刻な担い手不足

・新規就農者が少ない
・労働力不足

・一次産業の良さを小さい頃から教える
・若い人の育成を
・4～5町歩の経営者グループづくり
・町に米のカントリー施設をつくる

行政の透明性と支援の要望

・農業政策に対する補助金が少ない
・「人・農地プラン」の変更、進捗が見えない

・補助金を増やしてほしい
・匿名での相談や質問などができるように掲示板を設置してほしい
・情報公開、周知してほしい



令和8年　第3回定例会開催
9月14日～25日

令和8年第3回定例会が9月14日から25日までの12日間の会期で開催されました。令和7年度一般会計・特別会計決算のほか、令和8年度一般会計・特別会計補正予算案、人事案など18件が町長から提出され、審議の結果、いずれも原案どおり「承認」「可決」「同意」しました。

（万単位で端数処理しています）

令和8年度 平内町国民健康保険平内中央病院事業会計補正予算（7月31日専決）

収益的支出　205万円増額　総額16億8,037万円

資本的収入・支出　6,568万円増額　総額　2億7,356万円

内容　新興感染症対応力強化事業による病棟改修工事及び医師の勤務環境等改善施設整備事業による医局改修工事実施のため増額しました。

令和8年度 一般会計補正予算

6,048万円増額　総額81億5,725万円

主な内容

指定ごみ袋を追加購入

●479万円　増額

中東情勢によるナフサ不足が原因と思われる単価高騰により町で購入できる数が減少したこと、買占めにより在庫が減少したため。

質疑

船橋侑雅議員　ナフサ不足が影響するなか、指定ごみ袋の値上げを検討しているのか。

町民課長　町の財政事情を鑑み、検討中である。

○その他、学校給食センター維持管理事業等を補正しました。

人　事　教育委員会委員・固定資産評価審査委員会委員が決まりました

令和8年10月27日をもって教育委員会委員を任期満了となる田中芳子氏（70）、令和8年10月24日をもって固定資産評価審査委員会委員を任期満了となる三津谷誉右工門氏（77）について、町長より再度候補者として推薦したいと議会の意見を求められ、満場一致で推薦に同意しました。



田中（たなか）　芳子（よしこ）氏



三津谷（みつや）　誉右工門（よえもん）氏

令和7年度決算
81億6,818万円
1年間　町のお金を

9月17日、18日に開催された決算特別委員会において、令和7年度一般会計・特別会計決算を審議しました。

決算の状況

●一般会計・特別会計

会計名		歳入	歳出
一般会計		83億　171万円	81億6,818万円
特別会計	国民健康保険特別会計	17億　203万円	16億8,311万円
	特殊索道事業特別会計	2,551万円	2,540万円
	介護保険特別会計	15億7,713万円	14億8,236万円
	後期高齢者医療特別会計	4億1,206万円	4億　705万円

詳しくは
広報ひらない11月号を
ご覧ください。

●公営企業会計

会計名	区分	収入	支出
国民健康保険平内中央病院事業	収益的収支	16億2,603万円	16億2,472万円
	資本的収支	2億3,187万円	2億9,257万円
水道事業	収益的収支	2億8,990万円	2億6,056万円
	資本的収支	2,170万円	1億4,222万円
下水道事業	収益的収支	4億5,057万円	4億4,989万円
	資本的収支	2億6,986万円	3億5,319万円

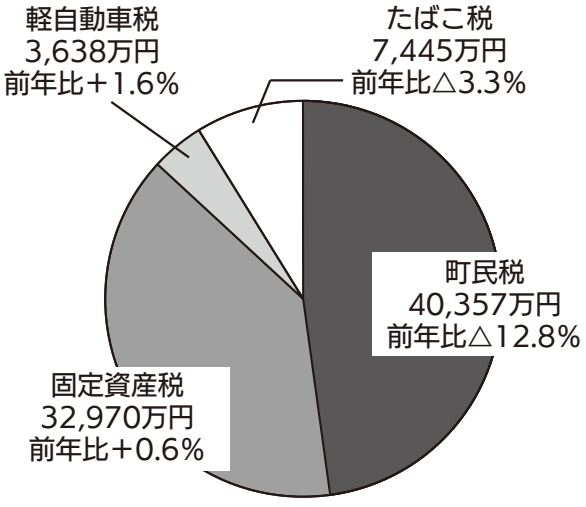
監査委員からの意見

令和7年度決算については、前年度に対し、普通建設事業費が減額となっているものの給与改定等による人件費、補助費等の増額、除排雪経費の増などにより、歳入歳出ともに増額となっています。

町税に関しては、基幹産業であるホタテ養殖業において、例年を下回る出荷量となった影響を受け、減額となっています。

財政調整基金の取崩しが増えたことにより、実質単年度収支は2億9,520万円の赤字となり、依然厳しい財政状況となっています。引き続き厳しい環境下にあるという認識をもって、より一層の効率的な財政運営に努めていただきたい。

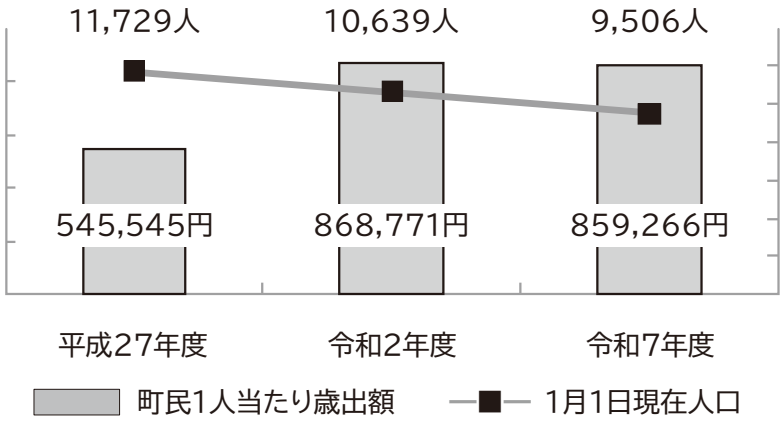
＜町税内訳＞



「どう使った？」

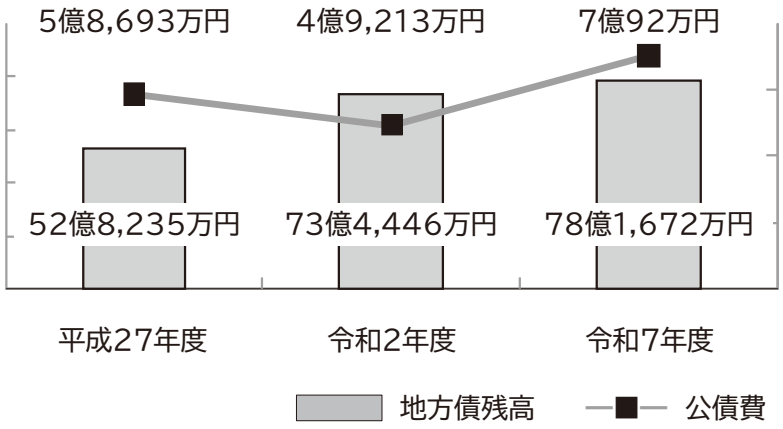
10年前、5年前はどうだった？気になる数字を比べてみました！

人口と町民1人当たりの歳出額



町の人口は、この10年間で約2,200人減少し、9,500人台となっています。人口減少と少子高齢化が進む中、町では子育て支援、移住・定住、産業振興などの対策を進めています。今後も、若い世代が住み続けたいと思えるまちづくりが重要です。

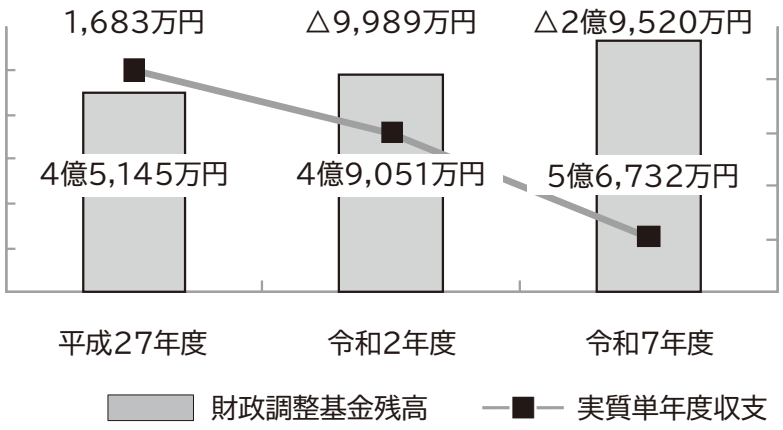
公債費と地方債残高



地方債とは、地方公共団体が財政運営に必要な資金を借り入れすることです。公債費はその返済金（元利償還金）です。

令和7年度は、避難所整備事業、防災行政用無線設備整備事業、保育料等軽減事業、学校教育施設等整備事業、漁港整備事業等のために、借り入れしました。

実質単年度収支と財政調整基金



町の決算において、財政バランスを測るための指標である実質単年度収支は年度ごとに黒字と赤字を繰り返してきました。

今後は、人口減少や物価高騰、公共施設の更新などに備え、基金を適切に活用しながら健全な財政運営を続けることが重要となってきます。

決算特別委員会で
4人の議員が質(ただ)したこと



委員長
田中　光弘



副委員長
船橋　侑雅

減少する基金残高　見通しは

船橋侑雅委員　財政調整基金繰入金が2億7,717万円で、取り崩し後の残高が前年度に比べて約2億円ほど減少。向こう3年持たないような状況だが、翌年度以降の見通しは。

総務課長　財政調整基金は底をつくような状態で、令和8年度の当初予算で補助金の20パーセントカットを行った。令和9年度の当初予算も、より厳しい予算編成が見込まれるので、各課長をメンバーとした財政運営検討委員会をこれまで2回行っている。

森林経営管理の進捗状況は

田中茂勝委員　森林経営管理事業の進捗と申込者への通知は。

農政課長　東田沢地区を中心に40町歩ほど実施中である。事業を進める前に山林所有者には要望の提出を求めている。今後は、管内全域を対象に行っていく予定である。

※森林経営管理とは
　森林の経営や管理を市町村に任せること。



東田沢地区での▶
玉切り作業

財産売り払い収入の内訳は

荒内護委員　財産売り払い収入64万892円は、どこの土地を坪単価いくらで売ったのか。

総務課長　青少年ホーム前の旧医師住宅跡地を売却。坪単価1万7,300円の37坪で、周辺土地と同額程度とした。

報償費はどのように使った？

畑井勝廣委員　水産振興費の報償費の使途と活動は。

水産商工観光課長　水産系廃棄物処理施設計画検討委員会の委員14人分で、これまで4回開催している。現在、清水川地区で残渣を乾燥させ、菌で処理した後に再利用する残渣処理機器の実証実験を行っている。結果を業者から受け、検討委員会で今後の方向性を詰めていきたい。



残渣処理機器の実証実験中　清水川地区

広告手法の検討を

船橋侑雅委員　夜越山管理事務所費の宣伝広告料169万9,000円はテレビ等によるものか。最近は、SNSによる広告効果も大きく見込めるため、なるべくお金をかけない手法を検討すべき。

水産商工観光課長　洋ランまつりの時期に新聞やテレビ広告を出している。SNSはインスタグラム等があり広報はしている。今後も、なるべく経費のかからない広告を検討していきたい。

内水氾濫の対応どうなる？

田中茂勝委員　水害地帯環境整備工事の実施場所は。また、全国的に最近雨が降ると川が氾濫しなくても内水氾濫により街中の側溝から水が溢れる現象が起きる。町の水害対策は。

地域整備課長　工事は、小湊和田・後菟地区を実施。また、町の水害対策としては、引き続き大雨になると水が溜まる場所があるため、順次解消に向けて対策工事を進めていきたい。



雨水があふれない▶
側溝整備を

漏水かも！？道路の異変

荒内護委員　給水状況の有収率が62.5パーセントとなっている。配水量の約4割が漏水の可能性があると思われる。今後の対策は。

上下水道管理室長　業務委託による漏水調査を実施している。漏水は目に見えない部分が多いので、町民からの情報も得ながら、漏水量を減らしていきたい。



パークゴルフ場の芝は大丈夫？

畑井勝廣委員　パークゴルフ場はシーズン券を持っている方もいる。それに見合ったコース整備が必要ではないか。また、夏場は水をかけなければグリーンの芝が焼けてしまうため、行政の指導も必要ではないか。

水産商工観光課長　夏の暑い時には、指定管理者の方で水をかけている。指定管理者の方とも話し合いながら考えていきたい。



夜越山パークゴルフ場

※指定管理者とは
「公の施設」の管理運営を、地方自治体から指定された民間企業やNPO法人などの団体が代行する仕組み、またはその代行を行う事業者のこと。

集中豪雨時のトイレの逆流は？

田中茂勝委員　全国的に集中豪雨により、道路のマンホールから水が噴き上げている例が多い。当町の設備では家庭トイレへの逆流の心配はないか。

地域整備課長　逆流している下水道の多くは合流式と呼ばれる方式で、雨水と下水を同時に処理している。当町は分流式といい、下水のみを処理する方式で雨水などは入らない設計となっている。

今までのところ、トイレやマンホールから逆流した事例はない。

今後も発生しないよう管理を続けていきたい。



◆採　決　結　果◆

議案番号	提出議案
議案第42号～議案第49号	令和7年度一般会計歳入歳出決算認定について 令和7年度特別会計歳入歳出決算認定について（7件）
報告第15号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和8年度平内町国民健康保険平内中央病院事業会計補正予算〕
議案第50号	令和8年度平内町一般会計補正予算案
議案第51号	令和8年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案
議案第52号	令和8年度平内町水道事業会計補正予算案
議案第53号	令和8年度平内町特殊索道事業特別会計補正予算案

議案番号	提出議案
議案第54号	令和8年度平内町下水道事業会計補正予算案
議案第55号	令和8年度平内町介護保険特別会計補正予算案
議案第56号	令和8年度平内町後期高齢者医療特別会計補正予算案
議案第57号	平内町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第58号	平内町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

以上18件　全議員賛成

一般質問 町政を問う

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。9月定例会では4人の議員が登壇しました。

田　中　　大　議員　……P11
1　関係人口づくりについて

畑　井　勝　廣　議員　……P12
1　町の将来像について

太　田　満　則　議員　……P13
1　浜子地区の旧操車場跡地の環境整備について
2　農免道路の環境整備について

田　中　光　弘　議員　……P14
1　公共交通の確保について
2　除雪対策について

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな内容が審議されています。

議会の傍聴は、受付票に氏名・住所等を記入し、受付箱に投函するだけでどなたでも傍聴できます。

問　議会事務局　℡755-2119



「関係人口」で町とのつながりを

町長 / 既存施策で関係人口を増やす



田中（たなか） 大（だい） 議員



野菜を並べて、会話も並べて 「ふんちゃ」営業中！

田中 平内町では、人口減少と少子高齢化が同時に進んでいる。これからは、町に住む人を増やす「定住人口」だけでなく、町外に住みながらも平内町を応援し、継続的に関わってくれる「関係人口」を増やす視点が重要である。ふるさと納税の寄附者、当町出身者、繰り返し訪れる観光客、地域活動やイベントに参加する方など、平内町に「関わりたい」と思ってくださる方々とのつながりを、さらに深めていくべきではないか。

町長 移住・定住、観光、地域づくりなど、これまでの取組を通じて、町を訪れ、地域と交流し、継続的につながっていただく方々との関係を築いてきた。今後は、関係人口になり得る方々とのつながりをこれまで以上に意識し、既存事業の中で関係を継続・発展させていきたいと考えている。

田中 国では、居住地以外の地域に継続的に関わる人を「見える化」し、地域とのつながりを深める「ふるさと住民登録制度」の取組が進められている。当町としても、ふるさと納税寄附者など、すでに平内町とつながりのある方々を継続的な交流につなげていくべきではないか。

町長 制度は、関係人口の創出に一定の役割を果たすものと認識している。今後、具体的な内容や運用方法を注視しながら、既に町とつながりを持つ方々への制度紹介や関係部署への周知など、活用を検討していく。

田中 ホタテ産業、森林、観光、空き家など、当町が抱える課題をテーマに、都市部企業や大学、専門人材などと住民が一緒に取り組む「地域課題解決型」のプロジェクトを進めてはどうか。

町長 これまで大学との連携や青森圏域連携中枢都市圏事業を活用した取組を進めてきた。今後はこれらをさらに活かし、必要に応じて都市部企業や専門人材との新たな連携も検討し、地域課題の解決と関係人口の創出を一体的に進めていく。

田中 関係人口を一時的な取組で終わらせないためには、庁内の関係部署が連携し、成果を検証しながら進めることが重要である。「平内町関係人口創出戦略」を策定し、登録者数やイベント参加者数など、成果を確認できる仕組みをつくるべきではないか。

町長 関係人口について庁内で共通認識を持ち、効果を検証しながら進めることは重要と考えている。一方、現時点では関係人口を独立した施策として展開するのではなく、「平内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各分野に位置付けられた施策を推進する中で、関係人口の創出・拡大を図る考えである。今後は、単に人口を増やすのでなく、実際に町への訪問や地域活動への参加など、「平内町と継続的につながる人」を増やす取組を進めていく。



地域の未来会議　アイディアが止まらない！



畑井（はたい）　勝廣（かつひろ）　議員

町の将来像をどう描くのか

町長 / 既存資源を活かしたまちづくりを目指す

畑井　町長の4期目の公約の中に、ホタテ養殖に関する対策として、ホタテ対策調査推進監を設置するといった趣旨の政策が掲げられたと承知しているが、その後、この取組がどのような形で実施され、どのような成果につながったのか。

町長　ホタテ対策調査推進監を令和6年4月に配置し、県や水産総合研究所、漁協などとの情報共有体制を強化した。養殖残渣の処理についても検討委員会を立ち上げ、調査を進めている。今後も関係機関と連携し、課題解決に取り組む。

畑井　新庁舎建設による将来の財政負担や、建設地の地盤の安全性は大丈夫か。

町長　今後も厳しい財政運営が続くと認識している。建物や設備の修繕・更新費用も見通しながら財政運営を行う。新庁舎の支払い開始後は、実質公債費比率が約4ポイント上昇する見込みだが、起債許可団体の基準である18％は超えないと試算している。地盤については必要な調査と専門的な検討を行い、安全性を確認している。

畑井　夏泊半島の大島灯台まで遊歩道を整備できないか。

町長　大島は東田沢町会が所有する土地であり、整備には町会の理解と許可が必要となる。安全対策や維持管理、費用などの課題もある。これまで具体的な検討や県との協議は行っておらず、現時点で調査する考えもない。

畑井　郷土資料館や高橋竹山氏の貴重な資料を、もっと町内外に発信できないか。施設の移設や再配置も検討すべきではないか。

町長　学校教育や観光振興と連携し、子どもたちが郷土の歴史や文化を学ぶ機会をつくるほか、SNSやデジタルアーカイブを活用して情報発信したい。施設は老朽化などの課題もあるが、移設や再配置は現時点で考えていない。

畑井　夜越山の展望台からの眺望を復活させ、花の植栽などで四季を通じて楽しめる公園にできないか。



夜越山の斜面　花で彩りを

町長　展望台や夜越山には観光資源としての可能性がある。一方、新たな整備には初期費用だけでなく、その後の維持管理費も必要となる。既存施設や自然環境を有効活用し、経費を抑えながら魅力を高めることが重要と考えている。

畑井　利用状況のよいケビンハウスを、現在の6棟から将来的に10棟程度まで増やせないか。

町長　一定の利用実績がある一方、増設には建設費や維持管理費が必要で、既存施設の修繕や設備更新も見込まれる。現時点で具体的な増設計画はない。

畑井　パークゴルフ場のコースを増設し、公式大会を誘致して交流人口の拡大につなげられないか。

町長　現在は町民の健康づくりや交流の場として整備している。コース増設には利用状況や今後の需要を把握する必要があり、維持管理費も増えるため、公式大会誘致を目的とした具体的な増設計画はない。

浜子地区の旧操車場跡地の環境整備は



おお た　みつのり
太田　満則 議員

町長 / 仮置き場として適切に管理していく





有効な町有地利用を

太田　浜子地区の旧操車場跡地は旧国鉄から目的があって購入したものと聞いているが、どう整備するのか。

町長　総合運動公園用地として取得したものである。整備には多額の費用を要するほか継続的な財政負担となる。当面は盛土規制法に抵触しない範囲で仮置き場として適切に管理していく。

太田　現状は、ごみが無造作に積み上げられ草木が伸び放題になっている。最近も許可無く、不法に投棄したと思われるものもある。また、業者による土砂の運び出しを行なっている。何処に移動させているのか。

地域整備課長　土砂の運搬については、町の土地東側に移動させている。

夜越山公園前から野辺地方面への道路整備を

太田　通称、農免道路の走行環境については前にも質問した。定期的に除草・刈り払いを実施しているのか。

町長　業者に委託し、今年度もこれまでに3回の除草を実施している。直近では8月28日から9月1日までにかけて除草作業実施済みとなっている。

中央線・速度表示の整備を

太田　国道から夜越山温泉前までは、時速50㎞の標識があるが、以降の野辺地方面まで中央線も標識もない。中央線がないことから、住宅地内の生活道路と見なされ、最高速度は時速30㎞と聞いている。

　野辺地町管理分の道路は中央線がちゃんと整備されているが、当町分は整備していないことから法定速度が分かりにくい。中央線と標識を法令通りに整備すべきだ。

町長 / 対処していきたい



時速50㎞の終わりを示す標識　この先はどうなる？

地域整備課長　財政部局とも相談しながら対処したい。



田中（たなか） 光弘（みつひろ） 議員

デマンド実証運行の評価は

町長 / 評価しているが、課題があった

田中　令和6年1月から実証運行してきたデマンド交通は、本年9月30日で休止である。実証運行の町の評価は。

町長　新たな移動手段として一定の役割を果たしたと評価しているが、財政負担が大きく、費用対効果で大きな課題があった。一因として、デマンド交通制度の周知不足、利用方法の理解が進まなかった、利用したい時間帯に運行していないなど、ニーズと運行条件が合わないことが考えられる。

田中　利用者外にも潜在的に必要としている方がいる。実証運行時に対応を図るべきであった。デマンド交通導入の目的は交通に不利益が生じないためである。財政面だけを捉えずに、事業を進めるべきである。

企画政策課長　一旦休止ではあるが、今後の継続、廃止について、現段階で方向性が決まっていない。



デマンド交通一旦休止

計画通りにスクールバスへの一般客利用を

田中　令和3年度からの平内町地域公共交通計画では、スクールバスへの一般客の混乗と通学以外の時間帯の運行について、令和7年度から実証運行を行う計画であった。実証運行の可能性を検討してきたのか。

町長　学校教育課と協議してきたが、生徒の登下校の時間帯に合わせた時刻改正や路線変更が必要なこと、また、学校行事や緊急事態発生時の対応など整理すべき課題があり、現時点では難しい。引き続き、関係機関と協議・検討していきたい。

田中　児童・生徒との早期の混乗運行は厳しいと思われるが、14年前からの検討課題である。

　登下校以外の時間帯は、運行事業者から「乗務員はスクールバス専属で、余力のある時間帯がある」との、一般客利用の可能性を示唆している。実施すべきだ。

企画政策課長　早期運行は無理でも、令和8年度から12年度までの第2期平内町地域公共交通計画に、一般客の利用を継続して盛り込んでいる。

除雪困難者の把握を

田中　除雪車通過後の住宅出入口へ寄せられた間口の硬雪は、自力で除雪困難な世帯には負担である。現行のボランティアによる除雪体制では、除雪に取りかかるまで一定の時間を要する。

　定期的な除雪支援者の事前登録方式に向けて、対象者を把握すべきである。

町長 / 実態把握に努める

町長　高齢者のみの世帯や障がい者世帯を含め、どのような方が間口除雪の支援を必要としているか、社会福祉協議会、民生委員、町内会などの関係者と連携し、その実態の把握に努めたい。

委員会の活動

所管事務調査　税金は地域行政サービスを支える重要な財源

【総務福祉常任委員会】

6月25日、税務行政における滞納処分、徴収率向上への取組、各種控除・減免措置の現状について所管事務調査を実施しました。

徴収面では、令和5年度よりコンビニ収納や共通納税（eLQRコード等）を導入し、利便性の向上を図っています。令和6年度の共通納税利用率は18.87％に達しました。また、徴収率向上のため、夜間徴収や納税相談を実施しています。課税面では、所得控除などの状況を確認しました。

【質疑】

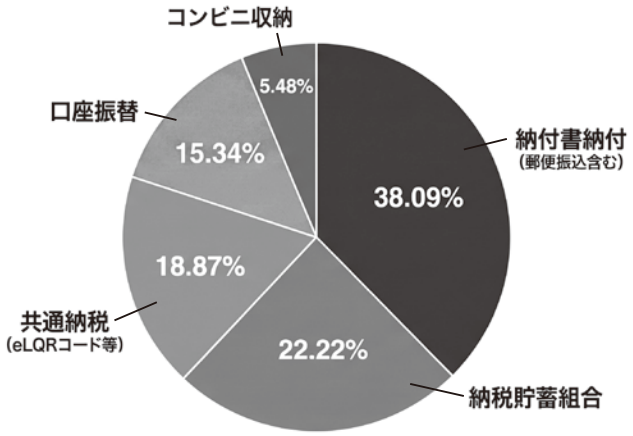
Q1　キャッシュレス決済の今後の見通しは。

A1　利用率は年々増加しており、令和7年度には21％程度まで伸びる見込みである。

Q2　納税組合の現状は。

A2　町全体の税収の約22％を担い、高い完納率を維持してるが、高齢化や個人情報への配慮から解散する組合が増えている。

令和6年度納付方法別収納割合



■納税貯蓄組合による納付は22.22％を維持
高齢化による減少傾向にあるが、依然として町全体の約4分の1を支えている。

■共通納税（eLQR）が普及
スマートフォン等で決済可能な「共通納税」が口座振替を上回る規模に成長。

所管事務調査　平内町の学校教育について

【経済文教常任委員会】

6月26日、平内町の学校教育について所管事務調査を実施しました。

町内では児童生徒数の減少が続き、今後さらに小規模化や複式学級の増加が見込まれています。

特に東小学校と山口小学校では、適正な学校規模を確保するため、統合の可否を検討する必要があります。また、校舎の老朽化が進み、新築や改修を行う場合、建設費の高騰などが課題となっています。

一方、ICT環境の整備や学習教材の導入、体力向上の取組が進められています。学校を拠点とした地域活性化では、子ども教室や児童クラブ、学校運営協議会などを通じ、地域と学校が連携して子どもを支える体制づくりが進められています。

※ICTとはパソコンなどの機器を使い、インターネットを介して情報・知識を扱う技術の総称。



児童数の減少が見られる東小学校と山口小学校

【質疑】

Q　児童の減少により、アンケートを実施し学校統合の方向に進む場合、統合準備委員会等の組織を立ち上げるのか。

A　統合準備委員会等を設置し、関係者からの意見を聞きながら進めるのがいいのではと考えている。

研　修　報　告

県外視察研修　高水温に負けない水産業を目指して

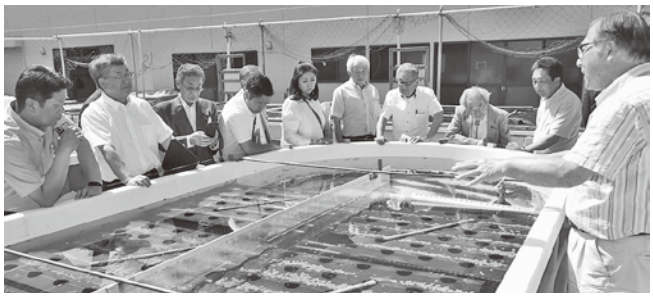
【ホタテガイ高水温対策特別委員会】

平内町議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会では、8月5日に岩手県大船渡市、8月6日に千葉県御宿町を訪問し、水産業の持続的な発展と海水の高水温対策について視察しました。

大船渡市の元正榮北日本水産株式会社では、エゾアワビの採卵から養殖・加工・販売までを一貫して行う陸上養殖について説明を受け、施設を見学しました。海洋環境を管理しながら安定生産を目指す技術に加え、地域資源であるアワビを活用し、「アワビのまち」として地域活性化につなげる取組について学びました。東日本大震災や火災による甚大な被害を乗り越え、復興に取り組む姿勢も強く印象に残りました。

千葉県御宿町では、NPO法人エスコットが研究・実証を進める「波動式湧昇ポンプ」を視察しました。波の上下運動を利用して海水を循環させる無電力型の技術で、表層高水温の局所的な緩和や栄養塩循環、養殖層への酸素供給環境の改善などが期待されています。

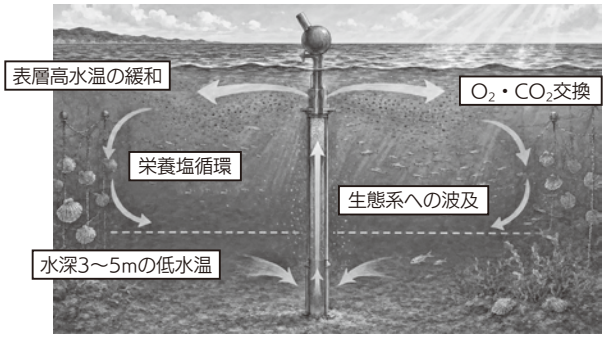
今回の視察を通じ、新たな技術を取り入れながら、漁業者、漁協、研究機関、県・町が連携し、実証とデータ収集を重ねることの重要性を認識しました。今後もホタテ養殖の安定生産と地域水産業の持続的な発展に向け、調査・提言活動に取り組んでいきます。



およそ250万個のアワビを水槽で養殖している



ポンプの仕組みについて説明する藤本代表



波動式湧昇ポンプの表層環境改善イメージ
（NPO法人エスコット提供資料）

議員勉強会　全議員で学び、もっと伝わる「議会だより」へ

8月20日、議員勉強会として、株式会社会議録センターより広報アドバイザーの矢嶋洋美氏を講師に迎え、「次号から生かせる！議会だより実践講座」を開催しました。

「削る・残す」「撮る・選ぶ」「引き込む・読ませる」という3つの編集判断を学び、住民にとって議会をより身近に感じてもらうための紙面づくりについて、実践を交えて研修しました。

今後は、情報を分かりやすく伝えるだけでなく、「自分ごと」として読んでもらえる議会だよりを目指し、紙面の改善に取り組んでいきます。



講師の軽快な語り口で終始和やかな雰囲気

ー第30回ー

あの人この人

起業編



小松（こまつ）　聡（さとし）さん
東沼館在住



国道夜越山入口付近にお持ち帰り弁当「キッチン天ぷく」開業

〇自己紹介をお願いします

昭和28年、岩手県岩泉町に生まれました。東京で働き、32歳で自営業を始めました。平成6年に青森市へ移り、ホテル青森などで勤務。その後、平成26年に平内町へ移住し、令和3年現在の場所に、持ち帰り弁当店「キッチン天ぷく」をオープン。地域の皆さんに親しまれる店を目指し、日々営業しています。

〇起業のきっかけを教えてください

青森市で開業していた頃、妻の実家がある大畑へ向かうため、青森市と大畑町を往復する中、平内町に惹かれ、12年前に移住しました。当初は食堂の開業を考えていましたが、コロナ禍をきっかけに、お持ち帰り弁当「キッチン天ぷく」をオープンすることとなりました。

〇現在の状況はどうですか

最近では、地域の催しに合わせた事前予約もいただくようになり、皆さんにご利用いただいています。

定休日は月曜日で、営業時間は10時30分から14時30分までです。日替わり弁当を中心に15種類以上のお弁当を用意し、季節や天候に合わせたメニューづくりを心掛けています。

〇これからの抱負を教えてください

妻に支えられて40年、これからも二人三脚で地域の皆さんに喜んでいただける新メニューの開発はもちろん、栄養バランスにも気を配り、「おいしい」と言っていただけるお弁当づくりを心掛けています。

今後はスタッフを増やし、よりゆとりを持ってお弁当づくりに取り組みたいと考えています。

令和8年度 議長交際費

7月	町議会議員入院見舞、議会フォーラム２０２６開催時お茶代、青森みちのく銀行「ひらない時鐘会」納涼パーティー	17,518円
8月	ホタテガイ高水温被害対策特別委員会県外視察時お土産代（２施設分）、平内町シニアクラブ連合会旗祀り時盛花、国民スポーツ大会綱引競技関係者懇親会	34,480円
9月	青森県選出国会議員との懇談会費、知事を囲む行政懇談会意見交換会費	12,500円

令和8年9月までの累計額は
100,298円です。
詳細についてはHPをご覧ください。

議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

令和8年 第4回定例会の予定

あなたに町の未来が見えてきます

12/ 7	（月）	開会・本会議・議案上程
12/ 8	（火）	本会議・一般質問
12/ 9	（水）	本会議・一般質問
12/10	（木）	各常任委員会
12/11	（金）	本会議・採決・閉会

おらほのサークル紹介シリーズ
ー第35回ー



平内アスリートクラブ
代表者：塩越 昭弘（しおこし あきひろ）

設立はいつですか？

2018年8月に発足しました。競技会に出場したい子がいたことをきっかけに、申込みなどを円滑に行うため団体として活動を始めました。

現在の活動状況はどうですか？

練習日は水曜日と日曜日を除く週5日活動しています。冬期間も、カクヒロアスレチックスタジアムや旧浅所小学校体育館で練習を行っています。

小学4年生から高校生までを指導しており、県大会優勝や入賞、東北大会入賞する選手もいますが、自己ベスト更新を目標にする子もいます。コツコツと練習を積み重ね、継続する力を蓄え一人ひとりの自信や人間力向上の一助になれるような指導を心掛けています。

今後の抱負を教えてください

陸上競技だけにこだわらず、さまざまなスポーツで生かせる力を伸ばしていきたいです。いつか平内町から世界へ羽ばたく選手が出てくれたら嬉しいですね。

子どもたちの可能性を狭めず、それぞれの成長を支えていきたいと思います。

議会や議員への一言をお願いします

地域の皆さんが身近にスポーツを楽しめる環境づくりをお願いします。欲を言えば、陸上競技場に全天候型のレーンを2、3レーン整備していただけたら嬉しいですね。

最後に一言お願いします

走ることやスポーツを通して、子どもから大人まで、地域のみんなが元気になれるような活動を続けていきたいと思います。

編集後記

今号は決算報告が主となっています。町民の皆さんに興味を持ってもらうため、活字を減らし、イラストや写真で目を引くように工夫しました。

町民のための議会広報を作るために毎年研修会に参加したり、講師を呼んで勉強会もしました。

今後も皆さんが目を引くようなインパクトのある議会広報を作っていきます。

みなさん見てね〜〜。　荒内　護

議会広報編集特別委員会

委員長	太田	満則
副委員長	田中	光弘
委員	船橋	侑雅
委員	荒内	護
委員	内海	伸
委員	田中	茂勝

発行／青森県平内町議会
編集／議会広報編集特別委員会
〒039−3393　青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL：017−755−2119
ホームページ：https://www.town.hiranai.aomori.jp/